



首都圏情報コーナー

文化講演会第1回の開催

3月15日午後3時から表参道新潟館ネスパスを会場に、佐渡の歴史講演会が開催されました。首都圏佐渡連合会



主催で、講師に佐渡歴史研究家の山本修己先生（佐渡真野新町在住）をお招きして「直江山城守兼統と佐渡」についてお話を伺いました。会場には定員限度一杯となる80名の首都圏在住佐渡出身者が聴講し、平成21年のNHK大河ドラマに決まった「天地人」の主人公、兼統が佐渡とどのようにかかわったかに大きな関心を寄せる人が多いことを示しました。上杉景勝軍は、直江兼統を総大将として天正17年6月に、沢根城主の内通により沢根港から上陸し、河原田城、羽茂城等を4日間で攻め落とし、兼統は8月まで在島、その後10年、佐渡が徳川氏の所領になるまで実質的に佐渡統治の責任者でした。また、兼統は学問に関心が深く、雑太城跡阿仏坊妙宣寺の建立やその寺宝などにもかかわったと言われています。山本先生は短時間の中で、その事象の裏づけを解説され、研究の深さを窺わせました。

首都圏佐渡連合会では、首都圏在住の学術、文化、歴史、芸能の分野で活躍されている佐渡出身者に、その蘊蓄と佐渡との関わりを伺う機会を定期的に開催したいと考えています。今回は文化講演会の第1回として、佐渡の歴史について採り上げました。



コミュニティ助成事業

寺田太神楽保存会（羽茂本郷）では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、長胴太鼓、締太鼓、龍笛、衣装等のお祭り用品を整備しました。これら備品を活用し、コミュニティ活動のさらなる活性化を目指します。



（財）自治総合センターでは、宝くじの普及広報を行うとともにコミュニティの健全な発展を図ることを目的として、様々なコミュニティ活動を助成しています。



佐渡の身近な水質を、一緒に調べてみませんか

第5回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

第5回「身近な水環境の全国一斉調査」は、水環境に関心のある全国の市民団体などと国土交通省・（財）河川環境管理財団が連携し、身近な河川や湖沼の水質調査をするもので、今年は6月8日(日)を中心に全国一斉に実施されます。

現在、市内での調査員を募集していますので、ご協力いただける方は下記の佐渡窓口まで連絡をお願いします。

調査の方法は、統一した調査マニュアルと簡単な調査器材を用い COD（化学的酸素要求量）などの項目を全国で一斉に調査するもので、調査結果は、「全国水環境マップ実行委員会」のホームページ等でお知らせしています。

全国水環境マップ実行委員会ホームページ
<http://www.japan-mizumap.org>
(2007年度までの調査結果掲載中)

<2007年第4回の調査状況>

参加者:全国8,100人、参加団体数:917団体(個人参加者を含む)
調査地点数:5,473地点

- 事務局 全国水環境マップ実行委員会 新潟地区実行委員 新潟水辺の会：加藤功 ☎ 025-230-3910
- 連絡先 佐渡窓口：小島昭芳 ☎ 0259-51-2135
- 申込締切り 5月25日(日)